

高校つぶしの条例は撤廃し 西淀川高校・能勢高校 池田北高校・咲洲高校を 存続させて下さい

大阪府教育委員会は9月3日、府立学校条例・再編整備計画に基づいて、府立西淀川高校・府立能勢高校を「再編整備の対象とする」との案を公表しました。また、昨年度は府立池田北高校・府立咲洲高校の「募集停止」方針を、4万名もの反対署名を無視し、決定しました。4つの高校は、地元になくてはならない学校として役割を発揮しています。なくしてしまえば、高校で学びたなくても「行き場のない子」が生み出され、「学ぶ権利」が奪われます。

道理のない高校つぶしは撤回すべきです。

この学校があったから
今の自分がある

「中学時代不登校でこの学校しか行けないと言わされた。でもそこで親身に関わってもらい、大学にも進めた。この学校があったから今の自分がある」(咲洲高校の卒業生の発言)

1万4千名の
署名を提出!

西淀川高校では、子どもたちを成長させる場として大切な役割を果たしている学校をなくさないでと、父母や卒業生、地域住民が、7月に「存続を求める署名」を提出しました。



町議会が
意見書を採択

能勢町では、地元になくてはならない学校を存続させて欲しいと、6月の議会で「能勢高校の存続を求める意見書」が採択されました。



ところが現知事は…!?

「魅力のない学校で定員にも満たず、その学校に通うことは、生徒自身の成長につながらない」

記者会見での発言(9月3日)

子どもたちを傷つける暴言に
関係者から怒りが噴出!